

# SONY

2010.4

## Digital Wireless Microphone System



[www.sony.co.jp/audio](http://www.sony.co.jp/audio)

●本カタログに掲載の価格には、配送設置・工事・接続調整などの費用は含まれていません。

## システム全体の主な仕様

サンプリング周波数	48kHz	
量子化ビット数	24bit	
基準入力レベル	マイク: -58dBu, 1kHz (-60dBV, 1kHz) ライン: +4dBu, 1kHz	
基準出力レベル	アナログ出力	-58dBu
	AES/EBU出力	-36dBFS/-20dBFS 切り換え
最大出力レベル	アナログ出力	-22dBu
	AES/EBU出力	0dBFS
周波数特性	20~22,000Hz	
ダイナミックレンジ	106dB typ. (A-weighted, T.H.D=1%時)	
高調波ひずみ率(T.H.D)	0.03%以下(1kHz、ライン入力+4dBu時)	
変調方式	$\pi/4$ Shift QPSK	
音声遅延時間	3.6m秒以下	
リモートコントロール	2.4GHz帯 IEEE802.15.4準拠	
USB	USB2.0準拠 Micro-AB端子	

## DWT-B01の主な仕様

送信部	
発信方式	水晶制御PLLシンセサイザー
発信周波数	806.125~809.750MHz
チャンネルステップ	125kHz
空中線電力	1mW / 10mW 切り換え
送信アンテナ形式	$\lambda/4$ フレキシブルワイヤー
占有帯域幅	192kHz以下
オーディオ部	
最大入力レベル	マイク: -22dBu(アッテネーター 0dB設定時) ライン: +24dBu
音声アッテネーター	0~48dB(3dBステップ可変。マイクレベル入力設定時のみ)
マイク入力端子	SMC9-4S(凹)
入力インピーダンス	4.7k $\Omega$ 以上
一般	
電源	DC 3.0V、単3形アルカリ乾電池×2
乾電池持続時間	約3.5時間(外気温25℃、ソニー単3形アルカリ乾電池、10mW出力、ワイヤレスリモートコントロール機能OFF、ディスプレイの自動消灯設定AUTO OFF)
外形寸法(幅×高さ×奥行)	約63×73×17mm(突起部を除く)
質量	約125g(乾電池含む)
付属品	ラベリアマイクロホン(ECM-77BC/9X相当品、ウインドスクリーン、横型ホルダークリップ含む)×1、 バッテリーケース(予備)×1、ソフトケース×1、 マイクケーブル[SMC9-4P(凸)⇔XLR-3-11Cタイプ(凹)]×1、 USBアダプターケーブル×1、USBケーブル×1、キャリングケース×1、 ネームラベル×1、取扱説明書×1、CD-ROM×1

## DWR-S01Dの主な仕様

チューナー部	
受信方式	スペースダイバーシティ方式
回路方式	ダブルスーパーヘテロダイン
受信周波数	806.125~809.750MHz
チャンネルステップ	125kHz
局部発振	水晶制御PLLシンセサイザー
アンテナ端子	BNC-R, 50 $\Omega$
感度	20dB $\mu$ 以下(ビットエラーレート=1×10 <sup>-5</sup> 時)
オーディオ部	
出力端子	D-sub 15ピンコネクタ(凸)×1
一般	
外形寸法(幅×高さ×奥行)	約88×119×31.3mm
質量	約280g(付属アンテナ取付け時)
付属品	ヘリカルアンテナ×2、ホイップアンテナ×2、 USBアダプターケーブル×1、USBケーブル×1、 取扱説明書×1、CD-ROM×1

## DWA-01Dの主な仕様

オーディオ部	
出力端子	SMC9-4S(凹) (OUTPUT1 / OUTPUT2)
アナログ出力インピーダンス	150 $\Omega$ 以下
AES/EBU出力インピーダンス	110 $\Omega$
WORD SYNC入力	BNC-R, 75 $\Omega$ 、ロックレンジ:32~96kHz
モニター出力端子	$\phi$ 3.5mmステレオミニジャック
モニター出力レベル	50mW(16 $\Omega$ 負荷、T.H.D=1%時)
一般	
定格電源	DC 12V
動作電圧	DC 10~17V
外形寸法(幅×高さ×奥行)	約88×144×31.5mm
質量	約330g
付属品	オーディオケーブル [SMC9-4P(凸)⇔XLR-3-12Cタイプ(凸)]×2、 DCケーブル×1、マウントプレート×1、取扱説明書×1



安全に関する注意

商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で少し異なる場合もあります。●HDCAM、XDCAM、MPEG IMC、DVCAMとこれらのロゴは、ソニー株式会社の商標です。●その他、記載されている各社名および各商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

ソニービジネスソリューション サイト

sonybsc.com

本カタログは再生紙および環境に配慮した大豆インキを使用

※特定市場向け商品などソニービジネスソリューションサイトに掲載していない商品もあります

ソニー株式会社

ソニービジネスソリューション株式会社 / 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

掲載の業務用商品およびソリューションに関するお問い合わせは

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

●携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 0466-31-2588

●FAX 0120-333-389

●受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および年末年始は除く)

2010.4

カタログ記載内容2008年6月現在

# ワイヤレスマイクロホンは今、 新たなステージへ

1991年のNABショーでUHF 800シリーズを発表して以来、  
ソニーはワイヤレスマイクロホンのリーディングカンパニーとして、  
放送局・サウンドエンジニアにUHF帯ワイヤレスマイクロホンを提供して参りました。  
「ワイドダイナミックレンジを備えた高音質」で「安定した伝送系」、「多チャンネル同時運用」。  
この3つのデザインポリシーを持つソニーのワイヤレスマイクロホンは、  
世界中のプロフェッショナルから好評を博し、数多くのシステムが稼働しています。  
しかし近年の地上放送のデジタル化をはじめとするHD映像機器の普及や、  
コンサートPAなどでのデジタル音声素材伝送・記録の普及に伴い、  
多くのお客様から「もっと良い音を」、「もっと多チャンネルで」というご要望をいただいております。  
その声に応えるためソニーは、デジタルオーディオ無線伝送技術の開発にチャレンジ。  
デジタルオーディオ無線技術を用いることで、有線伝送と同等の音質と性能を確保しながら、  
さらに多チャンネル使用できる世界を創りたいと考えています。  
「すべてのオーディオ機器の接続をワイヤレスで！」これが、ソニーが目指しているテーマです。



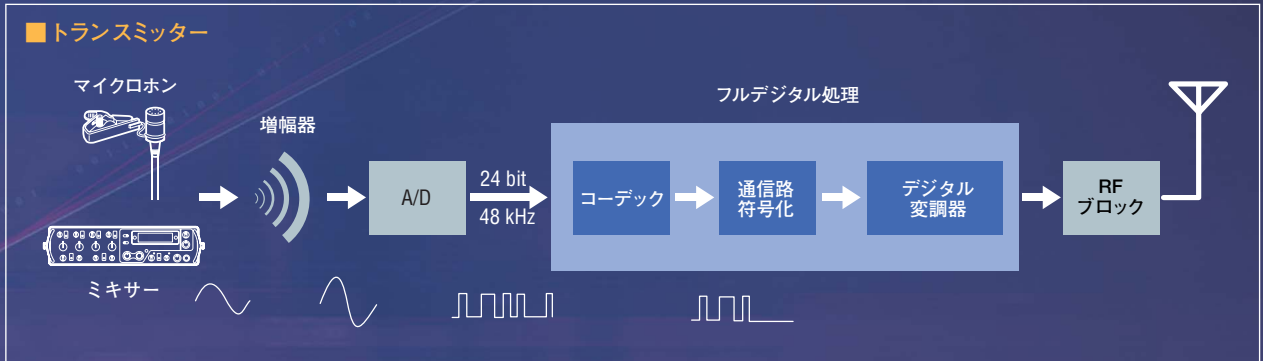
# 「デジタルワイヤレスシステム」その核となる技術を新たに開発

ソニーは、デジタルワイヤレスシステムの核となる「オーディオコーデック」と「デジタル変・復調器」を新たに開発しました。オーディオコーデックにより高音質かつ低遅延、そして秘匿伝送を可能とし、デジタル変・復調器により多チャンネル同時運用を実現します。

## デジタルワイヤレスシステムの概要

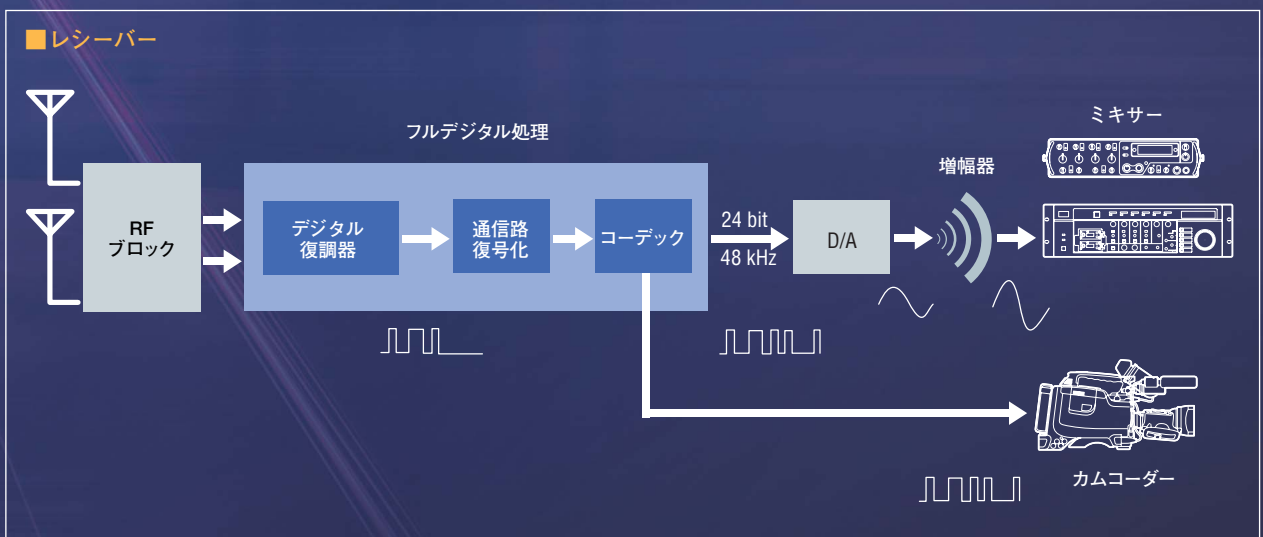
トランスミッターは、アナログオーディオ信号を増幅器で増幅後、A/Dコンバーターでデジタル変換します。そして、コーデックでは、A/Dコンバーターから入力されたデジタルオーディオ信号を圧縮して低ビットレートのデジタルストリームに変換します。さらに通信路符号化では、圧縮されたオーディオデータに無線伝送に必要な同期

データやエラー処理用データを加えた暗号化処理を行います。デジタル変調器は、通信路符号化処理を行ったデジタルストリームをデジタル無線伝送するための変調信号を生成します。変調信号はRFブロックに入力され、RFブロックは変調された搬送波を必要な送信電力まで増幅して送信します。



レシーバーは、RFブロックで受信した信号を、デジタル復調器で通信路符号化されたデジタルストリーム化し、さらに通信路復号化で、同期処理、暗号処理、エラー処理、オーディオデータ抽出処理を行います。コーデックでは、トランスミッターで低伝送レートに

圧縮された信号を伸張して、デジタルオーディオ信号を再生します。再生されたデジタルオーディオ信号は、D/Aコンバーターと増幅器を経由してアナログオーディオ信号として出力するか、AES/EBUのような標準的なオーディオインターフェースでデジタル出力します。



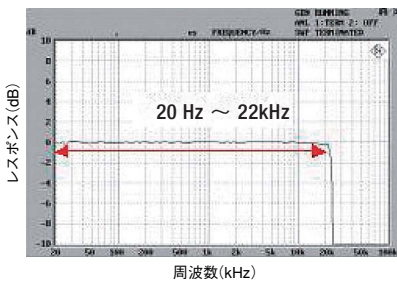
# 高音質伝送、安定性、多チャンネル運用などに優れたデジタルシステム

## 有線マイクロホンに迫る高音質伝送

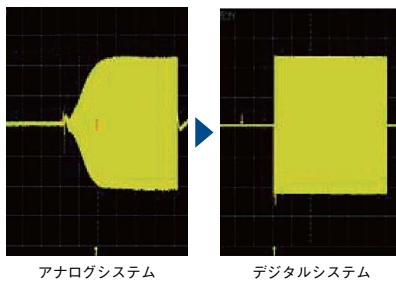
アナログシステムには、ダイナミックレンジを確保するためにコンパンダーと呼ばれる圧縮方式が搭載されており、現在もさまざまな改善が行われていますが、音質と過渡応答に対する根本的解決策にはなりません。そこでソニーが開発したデジタルシステムのオーディオコーデックは、これらの問題を根本的に解決し、さらなる音質の向上と、トランスミッターのA/DコンバーターからレシーバーのD/Aコンバーターまでを含め3.6ミリ秒の高速処理を可能としました。

- 24bit/48kHzサンプリングを採用
- 106dBを超えるダイナミックレンジ
- 20Hz～22kHzまでの広い周波数応答特性
- リニア方式に近い高速レスポンス
- 送受信システムで3.6ミリ秒の低遅延時間

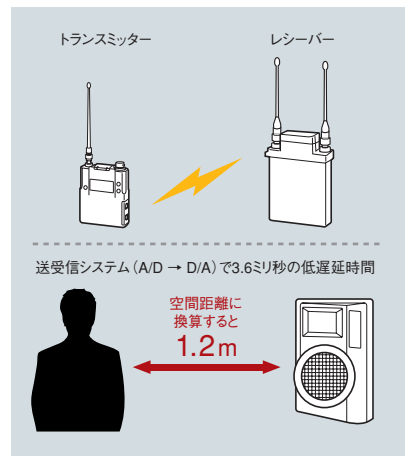
### ■ 周波数応答特性



### ■ 過渡応答特性



### ■ 低遅延



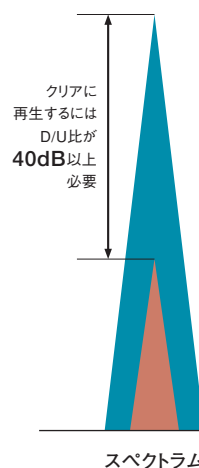
## 妨害波に強く、安定した無線伝送

アナログシステムでは、D/U比(希望波と妨害波の強さの比)が、復調されるオーディオ信号のS/N比となります。妨害波が強くなれば、復調される信号に含まれるノイズも増加する性質があるので、アナログシステムにおいて、クリアな音声を再生するにはD/U比で40dB以上必要とします。

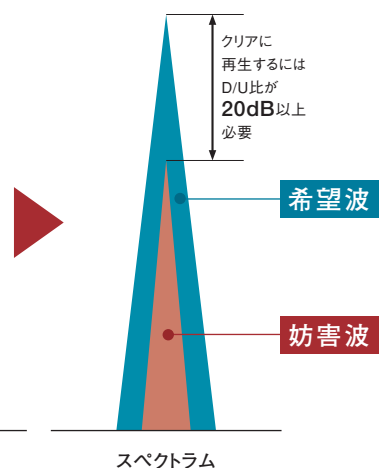
一方、デジタルシステムでは、エラーが無ければオーディオ信号の品質劣化がありません。ソニーのデジタルシステムでは、20dB以上のD/U比が確保できればエラーは発生しません。つまり、妨害波が強くなっても、D/U比が20dB以上確保できていれば音声の劣化が無いことになります。

このように、ソニーのデジタルワイヤレスマイクロホンは、従来のアナログシステムと比較して20dB以上(受信電圧レベル比で10倍以上)も妨害波に対して強くなり、安定した運用が可能となります。

### アナログシステム



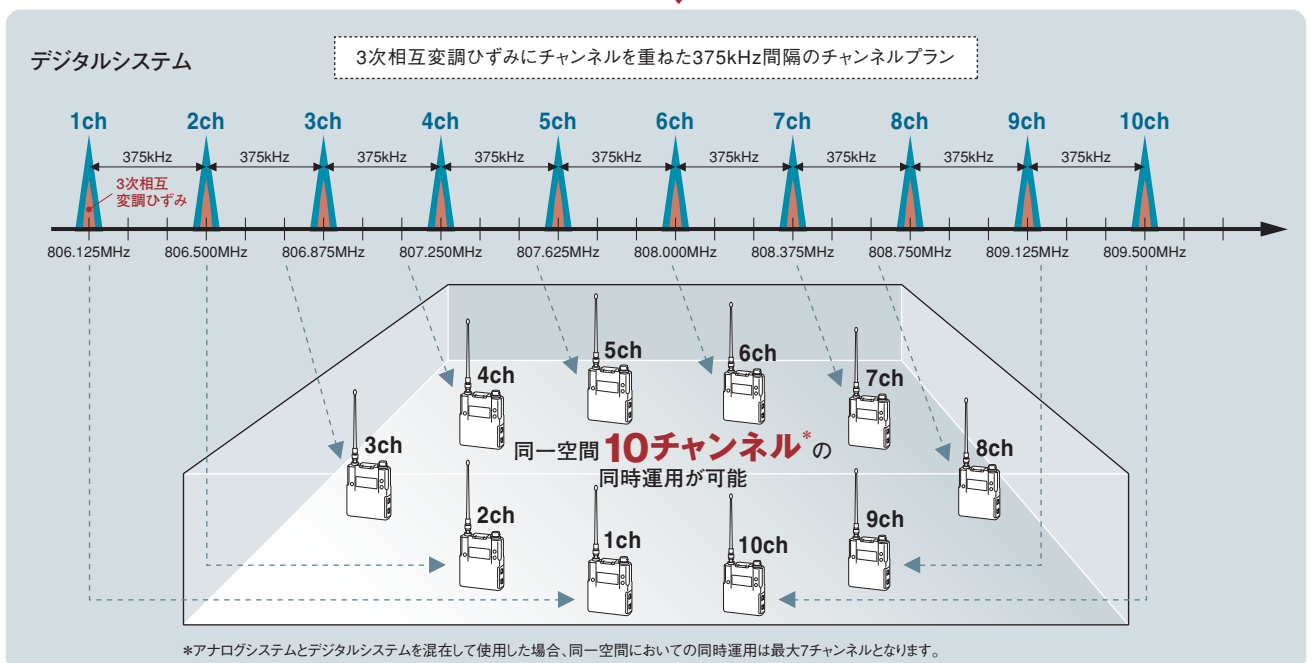
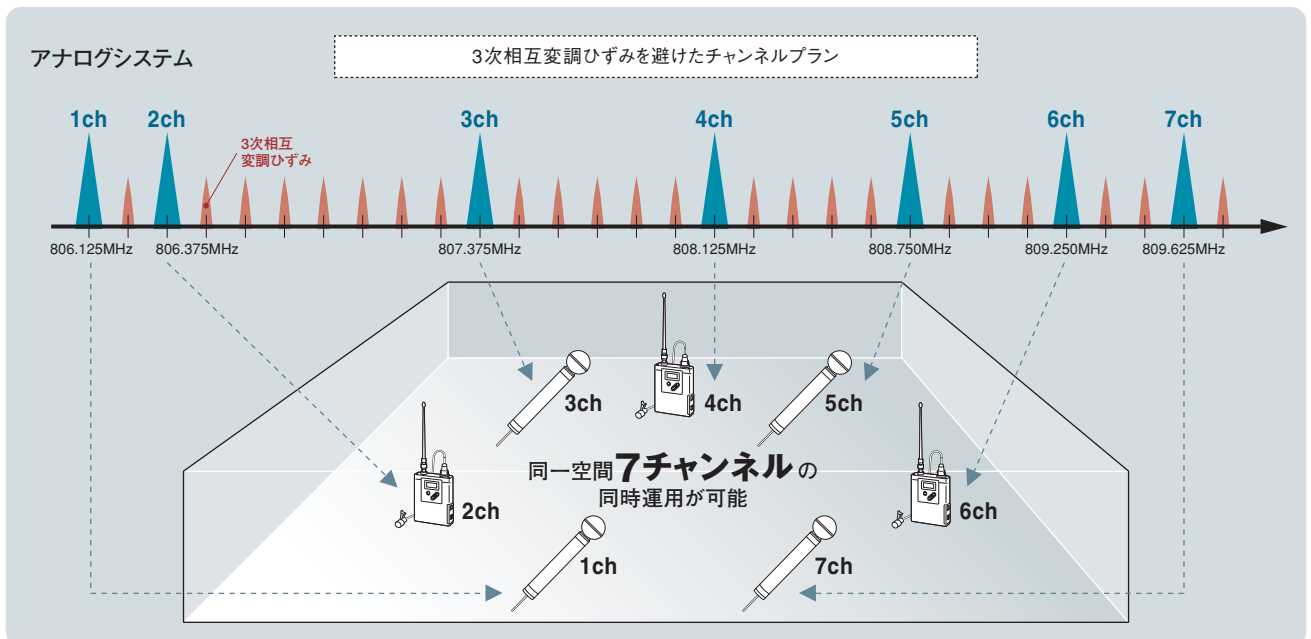
### デジタルシステム



## 多チャンネル同時運用が可能

妨害波に強いデジタルシステムは、多チャンネル同時運用に大きな進歩をもたらします。多数の無線チャンネルを同時に使用した際、それぞれのチャンネルが干渉することで、3次相互変調ひずみという新たな周波数が発生し、これが無線チャンネル妨害の原因となります。そのため従来のアナログシステムでは、この3次相互変調ひずみの発生しているチャンネルを避けてチャンネル配置を行う必要があり、同一空間においての同時運用は7チャンネルまでとなつて

いました。それに対し、デジタルシステムは、アナログシステムと比較して20dB以上も妨害波に強く、優れた高周波回路と組み合わせることで、3次相互変調ひずみが発生しているチャンネルを使用することができるようになります。すなわち、3次相互変調ひずみの発生を考慮する必要が無い375kHz間隔のチャンネル配置により、従来のアナログシステムの約1.5倍の10チャンネルの同時運用が可能となります。



\*アナログシステムとデジタルシステムを混在して使用した場合、同一空間においての同時運用は最大7チャンネルとなります。

## 盗聴を防ぐ暗号化伝送

アナログシステムでは音声信号をFM変調で伝送しているため、専用機材と知識があれば音声を傍受できてしまいました。一方、デジタルシステムでは盗聴防止のため、暗号化による秘匿性を持たせたワイヤレス伝送が可能です。ソニーのデジタルシステムは、秘匿鍵を用いたセキュアキーモードと、1つのパスワードを複数台のトランスミッターやレシーバーに設定し秘匿通信グループを作るパスワードモードをサポートします。セキュアキーモードは、トランスミッターが生成する鍵を交換した一対のトランスミッターとレシーバーでのみ通信が可能で、強固な秘匿レベルを保てるという利点があります。一方、パスワードモードは、ユーザー独自のパスワードをトランスミッターやレシーバー

に入力。パスワード未設定の機材は通信に参加できませんが、パスワードを設定した機材間では自由に通信できます。例えば、放送局の機材をすべて1つのパスワードに設定したとき、その局内では機材の暗号化を意識せずに自由な組み合わせで使用できるので、他局などに対して秘匿化できます。また秘匿化された同報通信（ブロードキャスト通信:1つのトランスミッターの音声を複数台のレシーバーで受信すること）も可能です。放送局以外でも、官公庁など、情報の漏洩防止、秘匿性が求められる利用にも有効です。

**アナログシステム**

FMラジオと同様の  
FM変調にて伝送

**情報の漏洩**

専用機材と知識があれば音声を傍受できてしまう

**デジタルシステム**

データを暗号化し  
デジタル変調にて伝送

**暗号化し、盗聴を防止**

2つのモードによる暗号化

- 1) セキュアキーモード
- 2) パスワードモード

## メタデータの送信が可能

音声信号と同時に、トランスミッターのオーディオ入力レベル、電池残量情報、アッテネーターなど、トランスミッターのほぼすべての情報をメタデータとして伝送することができます。これによりレシーバーのディスプレイ画面においてトランスミッターの状態を確認でき、運用上の利便性が向上します。またスロットインによるカムコーダー装着時は、トランスミッターのみならずレシーバーの情報もカムコーダーのビューファインダーなどで確認できます。

**音声RF信号**

**メタデータ**

- オーディオ入力レベル
- 電池残量情報
- ローカットフィルター周波数
- アッテネーターレベル
- トランスミッター名 など

トランスミッター      レシーバー

■ 通常の情報表示

オーディオ入力レベルメーター      信号品質メーター

トランスミッター電池残量      受信レベルメーター

表示切り換え

■ トランスミッターの情報表示の一例

送信出力表示      オーディオ入力レベルメーター      ワイヤレスリモートコントロールコンディション

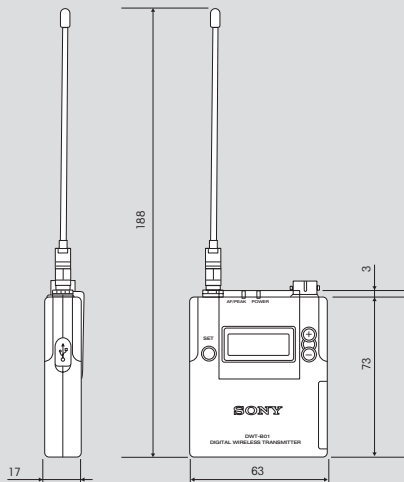
機名      入力レベル      アッテネーターレベル      トランスミッター電池残量

## 幅広いオーディオ入力レベルに 対応可能な小型・軽量化の トランスミッター



デジタルワイヤレストランスミッター **DWT-B01**  
希望小売価格 **367,500円** (税抜価格350,000円) **新発売**

外形寸法



単位: mm

### ◆免許不要のB型規格

簡単なボタン操作でB型帯域30チャンネルの切り換えが可能です。

### ◆体に装着しやすい小型・軽量設計

ソニーのワイヤレストランスミッターで最小・最軽量。素材にマグネシウムを採用し、軽量でありながら丈夫な筐体を実現しました。

### ◆幅広いオーディオ入力レベルに対応

ライン入力(基準入力レベル+4dBu)、マイク入力(基準入力レベル-60dBV)に対応。マイク入力では0dBから48dBまで3dBステップで切り換えられるアッテネーターを使用できます。

### ◆送信出力の切り換えが可能

送信出力を1mW/10mWの2段階に切り換え可能。多チャンネル同時運用から長距離伝送まで多彩な運用に対応できます。

### ◆ローカットフィルター搭載

デジタルローカットフィルターを搭載し、風切音などに対応できます。

### ◆電源スリープモード搭載

新機能のワイヤレスリモートコントロールを使いデジタルワイヤレスレシーバー DWR-S01D(別売)から遠隔コントロールが可能なスリープモードを搭載。トランスミッターを衣装の下に仕込んでいても、自由に電源のスリープ/立ち上げができるので、本番が始まるまでスリープ状態で待機させ電池の消耗を抑えた運用が可能です。

※ワイヤレスリモートコントロールについて詳しくは10ページをご覧ください。

### ◆単3形アルカリ乾電池に対応

単3形アルカリ乾電池2本で連続約3.5時間まで動作させることができます。

### ◆有機ELディスプレイ採用

フルドットマトリクス表示ができる有機EL表示素子(OLED)を採用。従来の液晶表示素子では難しかった、レスポンスの早いオーディオレベルメーターなども鮮明に表示します。暗い夜景や気温の低い場所でのロケや取材でも、表示性能の変化が少ないので、手早く設定変更が可能です。また、表示をOFFにすることもできます。



### ◆小型・高性能のラベリアマイクロホンを付属

放送用途で高い実績のあるECM-77BC/9X相当の小型・高性能のラベリアマイクロホンを付属しています。

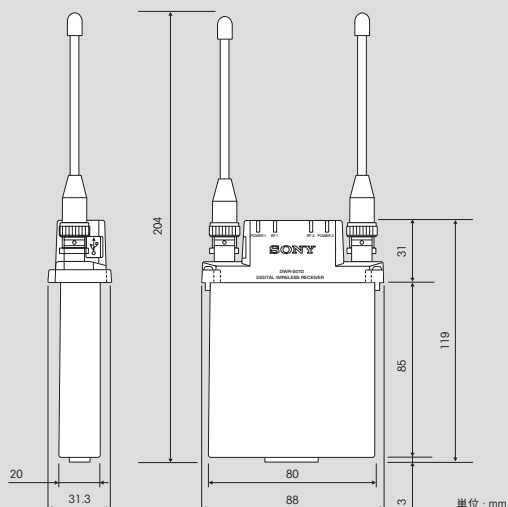


## 2チャンネル受信に対応した カムコーダースロットインレシーバー



デジタルワイヤレスレシーバー **DWR-S01D**  
希望小売価格 472,500円 (税抜価格450,000円) **新発売**

### 外形寸法



### ◆免許不要のB型規格

簡単なボタン操作でB型帯域30チャンネルの切り換えが可能です。

### ◆カムコーダースロットインタイプの2チャンネルレシーバー

2台のトランスミッターを使用した収録に対応できる2チャンネルレシーバーにおいて、世界初のカムコーダースロットインタイプを実現。スロットインに未対応のカムコーダーでもワイヤレスアダプター DWA-01D (別売)を使うことで、取り付けることができます。

※写真はXDCAM HD422カムコーダー PDW-700にスロットイン装着した状態です。



### ◆フルデジタルオーディオENGシステム

D-sub 15ピンのインターフェースによりカムコーダーとデジタル接続されます。トランスミッターでデジタル変換されたオーディオ信号は、そのままカムコーダーに記録されるフルデジタルオーディオENGシステムを構築することができます。また、スロットインに対応していないカムコーダーでも、AES/EBU入力に対応していれば、ワイヤレスアダプター DWA-01D(別売)を使用することでデジタル接続が可能です。



### ◆周波数スキャン機能を搭載

未使用の電波を探す「クリアチャンネルスキャン」と、使用中で受信可能なチャンネルを探す「アクティブチャンネルスキャン」の2種類の周波数スキャン機能を搭載。スピーディーで安全な周波数チャンネルのセッティングが行えます。

### ◆屋外での使用に耐える堅牢な構造

屋外でのハードな使用に耐える堅牢かつ防塵に配慮した構造で、防滴II型の性能も有しています。

### ◆新機能ワイヤレスリモートコントロール搭載

デジタルワイヤレストランスミッター DWT-B01(別売)の設定を本機のディスプレイ画面で確認しながら遠隔コントロールができます。

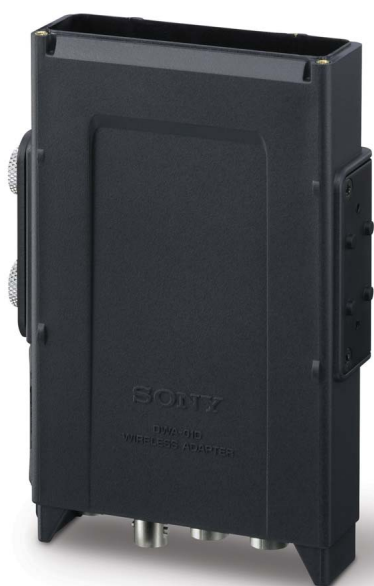
※ワイヤレスリモートコントロールについて詳しくは10ページをご覧ください。

### ◆有機ELディスプレイ採用

フルドットマトリクス表示ができる有機EL表示素子(OLED)により、多彩な表示が可能です。



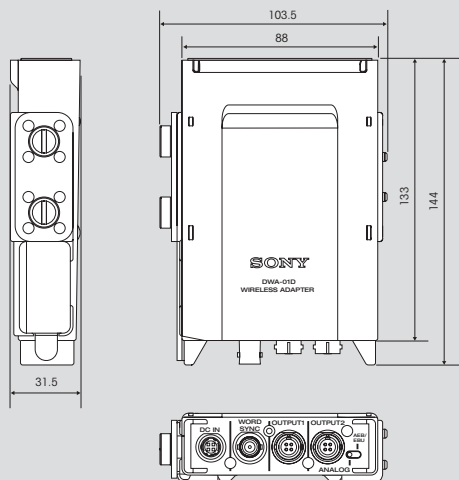
## 豊富な機能を装備し、 幅広いアプリケーションに 対応可能なワイヤレスアダプター



### ワイヤレスアダプター **DWA-01D**

希望小売価格 **73,500円** (税抜価格70,000円) **新発売**

外形寸法



単位: mm

#### ◆さまざまなアプリケーションに対応

デジタルワイヤレスレシーバー DWR-S01D(別売)と組み合わせることでポータブルワイヤレスレシーバーとして使用することができます。カムコーダーへ取り付けけたENGアプリケーションはもちろん、ポータブルデジタルミキサー DMX-P01(別売)などと組み合わせたロケーションミキサーシステムとしても運用可能です。また、アナログ方式のUHFシンセサイザーチューナーユニット WRR-855S(別売)にも対応\*します。

\*WRR-855Sを装着した場合は、AES/EBUのデジタル出力とチャンネル2のアナログ出力は使えません。

※写真はDWR-S01D(別売)を装着した状態です。



#### ◆豊富な出力機能

音声出力は、アナログ出力とAES/EBUのデジタル出力が選択可能。AES/EBUのデジタル出力は、ケーブル1本で2チャンネルの伝送ができ、チャンネル2をデジタル出力として使用しているときでも、チャンネル1はアナログ出力として使えます。



#### ◆WORD SYNC入力を装備

デジタル出力時の外部同期用としてWORD SYNC入力端子を装備。システムクロックとの同期運転が可能です。

#### ◆ヘッドホンアウトを装備

簡易音声モニターとして便利なヘッドホンアウトを装備しています。1chのみ、1ch+2ch、2chのみと、多彩なモニターが可能です。



#### ◆カムコーダーに取り付け可能

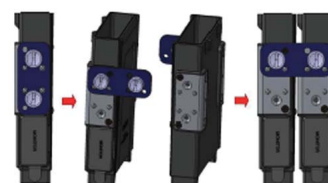
Vマウントプレート(付属)とマウントブラケット(A-8278-057-B)(別売)を使用して、ソニー製カムコーダーにワンタッチで取り付けることができます。

※写真はマウントブラケット(別売)を使用してカムコーダーに装着した状態です。



#### ◆アダプターの2台連結が可能

連結金具を使って、2台のDWA-01Dを連結して4チャンネルのレシーバーとして運用できます。

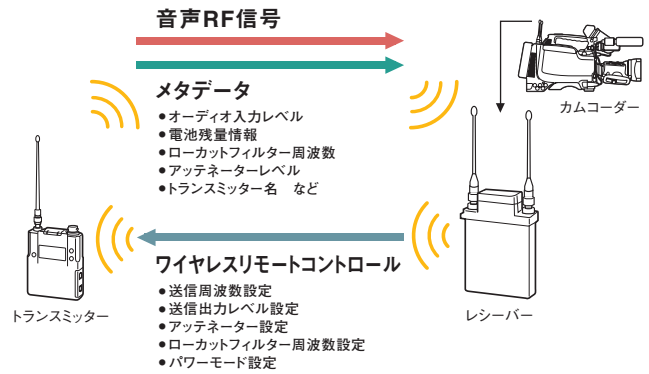


# 今までのワークフローを変える便利な新機能

## トランスミッターの遠隔コントロールが可能な新機能「ワイヤレスリモートコントロール」

アナログシステムと比べて、多チャンネルの同時運用が可能なデジタルワイヤレスマイクロホン。その設定と運用・管理をより簡単にするためにレシーバーからトランスミッターを遠隔コントロールできるよう開発されたのが新機能のワイヤレスリモートコントロールです。乾電池持続時間やオーディオクオリティーなど本来のワイヤレスマイクとしての機能を損なうことなく同時に使用できるよう2.4GHz帯のIEEE802.15.4規格を採用し、トランスミッターのアッテネーターやローカットフィルターの操作はもちろんのこと、電源や周波数設定など、トランスミッターのほとんどの機能をレシーバー側から操作できます。通常、トランスミッターは映像に映らないように衣装の下などに装着されるので、装着後は設定の変更や電源のオン/オフが困難になりますが、ワイヤレスリモートコントロールを使えば、遠隔から操作できます。さらに、レシーバーをカムコーダーにスロットイン装着した場合には、トランスミッターのローカットフィルターやアッテネーターをカム

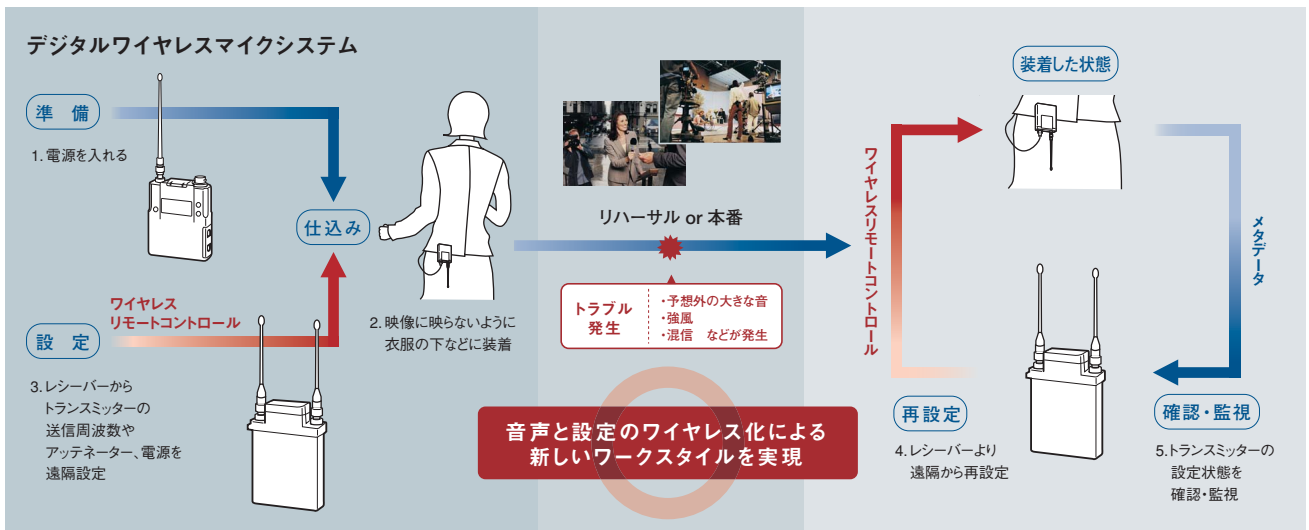
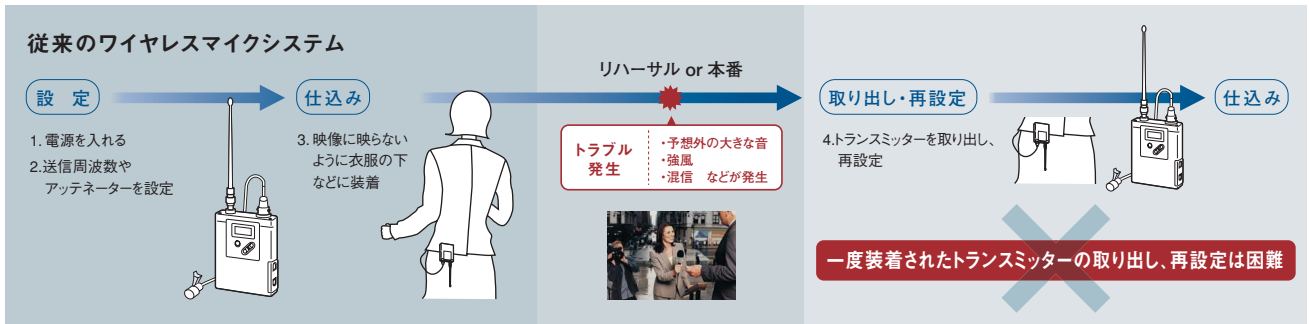
コーダーからも操作できます。予想外に大きな音や強風などが発生しても、トランスミッターを話者から取り外すことなく、カムコーダーのメニューから設定変更ができます。



## メタデータとの組み合わせにより、新しいワークフローを実現

デジタルシステムならではのメタデータ伝送と、新機能のワイヤレスリモートコントロールにより、新しいワークフローを実現します。トランスミッターの電源を入れて衣装の下などに仕込んでしまえば、後はレシーバー、カムコーダーからトランスミッターの状況を監視しながら、遠隔

コントロールで各種設定変更が行えます。また、本番が始まるまで、トランスミッターの電源をスリープ状態で待機させ、本番と同時に遠隔コントロールで電源を立ち上げるといった、電池の消耗を抑えた運用も可能となります。

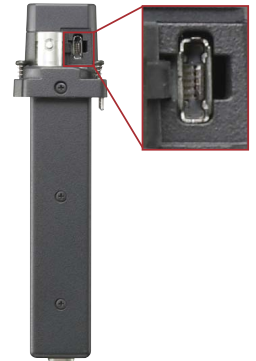


## USBインターフェースを搭載

トランスミッター、レシーバーともにUSBインターフェースを装備。市販のUSBキーボードを接続することで、各種設定やトランスミッターのユーザーネーム入力などに使用できます。またトランスミッターとレシーバーをUSBにて直接接続することで、秘匿鍵の交換が行えます。



DWT-B01  
デジタルワイヤレストランスミッター



DWR-S01D  
デジタルワイヤレスレシーバー

## さまざまなカムコーダーに対応

### ■ カムコーダー取り付け対応表

カムコーダー側の仕様				デジタルワイヤレス チューナー	アナログワイヤレス チューナー	ワイヤレスアダプター DWA-01D		
	ワイヤレスチューナー スロット	DC出力端子	マイク入力端子(リア)	DWR-S01Dの スロット収納	WRR-855Sの スロット収納	カムコーダーへの 取り付け*	カムコーダーとの接続	
HDCAM	HDW-F900R	●	●	XLRタイプ相当×2(AES/EBU入力対応)	×	●	●	AES/EBUまたはアナログ
	HDW-790	●	●	XLRタイプ相当×2(AES/EBU入力対応)	×	●	●	AES/EBUまたはアナログ
	HDW-730	●	●	XLRタイプ相当×2	×	●	●	アナログ
	HDW-730S	●	●	XLRタイプ相当×2	×	●	●	アナログ
XDCAM HD	PDW-700 / 740	●	●	XLRタイプ相当×2(AES/EBU入力対応)	●	●	●	AES/EBUまたはアナログ
	PDW-F355L	×	●	XLRタイプ相当×2	×	×	●	アナログ
	PDW-F335K / F335L	×	●	XLRタイプ相当×2	×	×	●	アナログ
	PDW-F350L	×	●	XLRタイプ相当×2	×	×	●	アナログ
	PDW-F330K / F330L	×	●	XLRタイプ相当×2	×	×	●	アナログ
XDCAM	PDW-530 / 510	●	●	XLRタイプ相当×2(AES/EBU入力対応)	×	●	●	AES/EBUまたはアナログ
MPEG IMX	MSW-970	●	●	XLRタイプ相当×2	×	●	●	アナログ
HDV	HVR-S270J	×	●	XLRタイプ相当×2	×	×	●	アナログ
DVCAM	DSR-450WSL	×	●	XLRタイプ相当×2	×	×	●	アナログ
	DSR-400K / 400L	×	●	XLRタイプ相当×2	×	×	●	アナログ
	DSR-250	×	●	XLRタイプ相当×2	×	×	●	アナログ

\* 別売のマウントブラケット(サービスパーツ番号A-8278-057-B)を介して装着



キャリングケース **LCH-DWL** (フジコワーク工業株式会社製)  
希望小売価格 59,850円 (税抜価格57,000円)

### アルミ合金製ハードキャリングケース

デジタルワイヤレスマイクロホンのトランスミッター2台とレシーバー1台を収納できます。

外形寸法(幅×高さ×奥行): 約422.8×332.8×130.4mm